

令和3年度

松前町教育行政執行方針

松前町教育委員会

令和3年度 松前町教育行政執行方針

令和3年松前町議会第1回定例会の開会にあたり、教育行政執行に関する主要な方針について申し上げます。

人口減少や少子高齢化という課題に直面する松前町に、さらに追い打ちをかけるように世界に蔓延した新型コロナウイルス感染症が大きく影響を及ぼしています。

こうした中、ウイズコロナ、ポストコロナを見据え持続的に発展していくためには、生きる力を身に着け地域の発展を支える人材育成を担う教育の役割が益々重要となっています。

ここに、総合計画に掲げる基本構想の「生涯の学びを通してこころ豊かに地域文化が育つまち」を目指す取り組みについて申し上げます。

先人への感謝の心を持ち、ふるさと松前に誇りと愛着を育む学びの推進は、「学力向上」「書道教育」「ふるさと学習」を柱に着実な歩みを続けています。教育は、人づくり、地域づくりの基本であり、地域発展の礎であるという理念を踏まえ、5つの教育指針の実現に向け、総合計画並びに教育大綱の下に、鋭意取り組みを進めるとともに、松前町の将来を担う子どもたちに良好な教育環境と学習環境を確保し提供してまいります。

はじめに、学校教育について申し上げます。

子どもたちには、ふるさとに誇りを持ち、互いに支え合いながら、生涯にわたって、生き抜く力を身につけさせることが教育の使命であり、教育に携わるすべての関係者が、それぞれの果たすべき役割と責務を自覚し、子どもたちが新たな時代に対応できる、「知・徳・体」の調和のとれた成長を遂げていけるよう、子どもたちの「生きる力」を地域全体で育んでいかなければなりません。

そのために、3小学校と1中学校を維持したまま導入した、小中一貫教育制度と学校運営協議会（コミュニティ・スクール）は4年目を迎え、町内全小中学校、地域住民と保護者が一体となって学校運営に取り組み、小中9年間の一貫した教育活動を行っています。

「学力向上」については、学力向上対策委員会が策定したアクションプランに基づき、「教師の授業力向上」と生活リズムの改善による「松前っ子3リズム」の完全定着を柱に基礎学力の向上に取り組んでまいります。あわせて、習熟度の低い子どもへの個別支援のための「学習支援員」や、障がいのある子どもの学習や学校生活をサポートする「特別支援教育支援員」を引き続き学校に配置してまいります。学習支援員については、3名体制から4名体制とし、習熟度の低い子どもへ手厚い支援を図ってまいります。

また、小学校5・6年生の外国語科、3・4年生の外国語活動に対応するため、ALT（外国語指導助手）の2名体制を維持し、中学校英語への円滑な移行を図ってまいります。あわせて、小中

学校で実施している漢字能力検定、実用英語技能検定、さらに昨年度からは実用数学技能検定を加え、検定料の無料を継続し、子どもたちの学びの習慣と学習意欲の向上を図ってまいります。

さらに、ＩＣＴを活用したＧＩＧＡスクール構想実現のため、昨年度、一人一台のタブレットを高性能のものに更新し、校内における高速大容量の通信ネットワーク環境の整備や、緊急時における遠隔授業を可能とするカメラ機器等の整備を行いました。

本年度においては、ＩＣＴ機器を活用したプログラミング学習と町内全域に光ファイバが整備されることによる家庭学習の充実を図るため、専門的知見を持ったＩＣＴ支援員による教職員への教育研修の充実を図ってまいります。

「書道教育」については、全道、全国書道展で北海道知事賞や文化庁長官賞を受賞するなど、着実に成果を上げており、小中一貫教育制度の下、書道教育推進会議や松前高校と連携し、小・中・高を通した書の日常化を進め、その取り組みを広く町内外に発信してまいります。

スタートから９年目となる「ふるさと学習」については、「ふるさと読本」を活用した授業を推進するとともに、「ふるさと学習応援団」の方々のご協力をいただきながら、町の自然や歴史の学習及び産業などの体験や町民との交流を実践し、郷土を愛する心を育てることのできる町独自の学習を進めてまいります。

また、児童生徒の「体力向上」では、学校毎に目標を設定し、

体育授業のほか、休み時間などを利用した「なわとび」などの定着を図り、体力及び運動能力の向上を図ってまいります。

あわせて、現在実施している生徒の各種検診のうち、引き続きピロリ菌検査を2次検査まで無料とし、生徒の健康増進と保護者の負担軽減を図ってまいります。

学校施設は、子どもたちの学習・生活の場であることから、安全・安心な教育環境の整備に努めてまいります。

ことさら新型コロナウイルス感染症防止対策のため、「3密」回避の徹底の指導を行い、消毒液等の確保等、衛生環境整備に努めてまいります。

施設整備については、「学校施設長寿命化計画」による松城小学校の電気設備、昇降機の改修や松前中学校の外壁塗装を実施し、学校施設の長寿命化を図り、老朽化している教職員住宅は、計画性を持って維持・管理に努めてまいります。

また、子どもたちが自然災害から身を守るための防災教育や、教職員へのAEDの研修会の充実など、子どもたちをはじめ利用者の安全を確保してまいります。

要保護・準要保護児童生徒の就学援助では、入学準備に必要な学用品費を前年度中に支給し、子どもたちが安心して入学できるよう持続的な保護者の負担軽減を図ってまいります。

松前高校は、「書道教育」「松前学」「国際理解教育」の3つを柱とする教育を進め、地域連携特例校として、協力校からの遠隔授業や生徒間の交流、教員間の研修などのほか、都市部の大規模

校から進学者向けの授業の配信により、学力の地域間格差の解消に取り組み、魅力ある高校づくりを推進しております。

この取り組みに対し、日本に留学している高校生を松前高校に招聘しての国際交流教育活動事業への支援、通学定期券購入費、下宿費及び見学研修旅行費に対する補助を継続してまいります。

また、生徒が希望の進路を実現するための対策として、公務員対策講座や看護講座の開設、進学のためのスタディサブリ高校講座の利用経費及び受験する全ての生徒を対象にした、各種資格取得や模擬試験に要する経費に対する補助を継続し、保護者の負担軽減と松前高校の魅力ある学校づくりを支援してまいります。

これらの事業を広くPRするため、パンフレットの増刷とポスター作成に対して引き続き補助してまいります。

奨学資金の貸付けについては、貸付金額や償還債務の免除規定など、保護者等に対して貸付内容の説明と周知に努めてまいります。

松前高校生のフランス国ブザンソン市ルイ・パスツール高校への研修派遣事業については、令和元年度に再開し、昨年度においては新型コロナウイルス感染症拡大により中止を余儀なくされましたが、松前高校の魅力の一つである大切な事業であり、感染状況を注視しながら実施してまいります。

子どもたちのいじめの問題は、子どもたちのささいな変化や兆候であっても、いじめとの関連を常に意識し、緊張感をもって取り組むことが求められています。当町では、「子どものいじめ防

止条例」を基本に、子どもたちが安心して生活し、学ぶことができる環境をつくるため、学校・家庭・地域・行政が連携し、いじめが許されない行為であることを理解させるとともに、いじめの早期発見・早期解決に努めてまいります。

教職員の働き方改革については、「学校における働き方改革松前町アクションプラン」に基づき、引き続き長期休業期間中に学校閉庁日を設けるなど、学校現場における教職員の時間外勤務等の縮減を図り、教職員が本来担うべき業務に専念できる環境整備に努めてまいります。

次に、学校給食について申し上げます。

学校給食は、子どもの健全な発達を促すうえで、大きな役割を担っており、食に関する正しい理解と適切な判断力を養い、規則正しい食生活に重要な役割を果たしております。今後とも安全・安心な給食の提供に努めるとともに、学校や家庭との連携を図りながら、食育の推進に努めてまいります。

また、地元を含めた道南食材の利用や給食試食会でのアンケート結果などを参考にした献立の見直し等を行い、児童生徒に栄養バランスのとれた美味しい給食が提供できるように努めてまいります。

給食費の未納対策については、就学援助制度の活用などについて、保護者への周知を徹底するとともに、学校との連携を更に図

りながら、着実に取り組みを進めてまいります。

次に、社会教育について申し上げます。

近年、生活環境や家庭環境が大きく変わり、各種団体やサークルにおける活動者の減少が課題となっています。さらに、家庭や地域の教育力の低下が指摘される中、地域全体としての子育てと学びの環境づくりが求められていることから、平成29年度に策定した「第6次松前町社会教育中期計画（5カ年）」に基づき、新型コロナウイルス感染症防止対策をしっかりととりながら、松前町の社会教育事業を推進してまいります。

家庭の教育力を高めるためには、子育てや家庭教育をサポートする必要がありますので、松前町PTA連合会やスポーツ少年団等と連携をとりながら、保護者を対象とした研修会の開催や児童生徒を対象としたスポーツ教室、未就学児の親子が集える場所の環境整備に取り組んでまいります。

地域の自然を生かした自然体験学習については、海や山とのふれあい事業等を実施し、豊かな心や郷土愛を育むための貴重な事業として、多様化した社会へ対応できる人づくりを目指し、強く、やさしく、大きな心を育むことを目標に取り組んでまいります。

小学校6年生を対象に愛媛県松前町^{まさき}、中学生を対象に福島県伊達市梁川中学校と実施している姉妹都市児童・生徒交流事業については、それぞれのまちの特色や、風土の違い、歴史的な背景を

学習するとともに、姉妹都市のより一層の結びつきや自己の見識を高めるため、引き続き実施してまいります。

情報通信技術の発展により、インターネットやSNSによる個人情報漏洩等、人権にかかわる事案が社会問題になっていることから、青少年の心と体の健全な発展を促し、自主性、社会性、正義感、倫理観を持った豊かな人間性を育むため、松前町青少年健全育成連絡協議会など関係団体と連携を密にしながら、「少年の主張大会」や「あいさつ運動」を実施してまいります。

また、高齢者の方々に学びと交流の場を提供する「いきいき教室」は、豊かで健やかな生活をおくれるよう、楽しく集まることができる健康づくりの場として、多くの方々に参加していただけるように創意工夫をしながら引き続き開催してまいります。

町立図書館については、乳幼児の親子のためのブックスタート事業、学校図書連携事業、四季毎にテーマを設けた推薦図書の紹介や各種新規イベントを実施しています。本年2月からは新たにインターネットを活用した図書検索システムを導入し、幅広く多くの方々に楽しんでもいただけるよう、利用者の趣向に配慮した図書館運営を目指してまいります。

次に、文化・スポーツについて申し上げます。

豊かで潤いのある生活を送るためには、文化活動への自主的な参加の支援や鑑賞機会を積極的に提供するなど、文化に親しむ環

境づくりを進めることが大切です。

町民の方々から発表や交流の場として親しまれている町民文化祭や地区芸能祭等については、一日でも早く町民の方々や子どもたちが各種文化活動を実施できるように引き続き支援してまいります。

松前町出身で文化勲章を受章された書家金子鷗亭氏の偉大な功績を讃え、文化の香り漂う書のまちづくりを推進するため、書のまちづくり推進協議会や関係者と連携し、「書道パフォーマンス」をはじめ各種事業に取り組むとともに、「書のまち松前」の一層の推進と情報発信に努めてまいります。

スポーツの推進は、町民の体力向上や健康の保持増進に欠かせない事業であり、地域づくりやまちづくりに大きな役割を果たしております。子どもたちの体力や運動能力の向上、メンタル面やスキル面の成長による人づくりに向けて、各少年団活動を引き続き支援するとともに、プロスポーツ選手を招聘した教室開催や、スポーツに親しむ機会の充実や夢を描ける環境整備に努めてまいります。

また、現役世代においては生きがいや健康づくり、指導者としての夢や人づくりのため、高齢者においては楽しみや健康づくりのための軽スポーツとして、コロナ禍の状況下でも実施出来る事業の検討等を含め、関係団体や町長部局との連携を図ってまいります。さらに、誰もが参加しやすい環境づくりに努めるとともに、町内のスポーツ各種団体等の活動のサポートや他町とのスポーツ

交流などを通して、スポーツの推進に努めてまいります。

最後に、文化財の保存・活用について申し上げます。

国指定史跡「松前氏城跡福山城跡」については、平成28年度に策定した「保存活用計画（10カ年）」に基づき、整備を進めておりますが、本年度は、現存の遺構であります石垣の調査を実施し、専門家の意見をいただきながら、今後の保護・保存・活用の方針を検討してまいります。

また、福山城天守整備については、平成30年12月の松前町議会第4回定例会において、行政報告をさせていただいたとおり、木造復元による天守整備を進めているところですが、新型コロナウイルス感染症防止対策のため、全国の権威ある専門家の方々と会議の開催や文化庁等関係機関との協議等に支障をきたしている状況となっております。コロナ禍の状況を見据え、町民の皆様をはじめ、北海道及び全国の方々のご理解とご支援をいただきながら事業推進を目指してまいります。

なお、本年度においては、引き続き福山城天守を含む全体計画となる「本丸地区整備基本計画（仮称）」を策定するため、「史跡福山城保存整備審議会」の立ち上げを検討してまいります。

松前城資料館は、年間約4万人が訪れる、松前町と北海道の江戸時代の歴史を象徴する施設となっており、来館者のほとんどが町外の方々であるため新型コロナウイルス感染症防止対策をしっかりととりながら、福山城の城郭がわかる「縄張り図」や天守木

造復元の歴史的資料となる写真等の展示をはじめ、郷土資料館も含め来館者に更に興味を持っていただけるような企画展等を開催し、松前町の歴史の発信に努めてまいります。

平成30年3月に国の「重要無形民俗文化財」に指定された「松前神楽」については、町内保存団体の保存・継承者育成事業の成果も着々と見えはじめてきており、その他無形民俗文化財等の各種保存団体とも連携し、ふるさと学習の場も活用しながら保存伝承及び周知に取り組んでまいります。また、日本遺産である「北前船寄港地・船主集落」の認定自治体としても、活用・周知に取り組んでまいります。

以上、令和3年度の松前町教育行政執行方針について申し上げましたが、教育委員会といたしましては、子どもたちがふるさと松前への誇りと愛着を持って、新しい生活様式等、社会の変化に対応した生き抜く力を身につけ、全町民が生涯にわたって心豊かに生活していけるよう、各教育委員ともども全力を尽くしてまいりますので、町議会議員の皆様並びに町民の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。